

企画展

冬の情景をうたう



水に手を

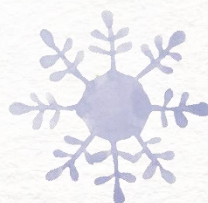
冬も打ちひたし

漉きたてて

紙の白雪

窓高く積む

初ゆき



待雪



雪乃こ

2023年12月7日(木) ～ 2024年3月10日(日)

休館日 月曜日(祝日の場合は翌平日休館)、年末年始(12月28日～1月4日)

開館時間 午前9時～午後5時15分(入館は午後4時45分まで)

観覧料 100円

中学生以下、70歳以上、障がい者手帳をお持ちの方は無料
家庭の日(毎月第3日曜日)は無料です

主催 福井市、(公財)歴史のみえるまちづくり協会



福井市橘曙覧記念文学館

Fukui City Akemi Tachibana Literature Memorial Museum

企画展

冬の情景をうたう



嵐のような風が吹き、「雪おこし」「雪雷」と呼ばれる雷が鳴り響くと、北陸ではいよいよ雪のシーズンとなります。

幕末の福井に暮らした橘曙覧^{たちばなのあけみ} (1812~68) にも、雪は身近なものでした。曙覧にとって冬は得意な季節ではなく、「寒さに堪えかねて、こたつにしがみつく」(『橘曙覧書簡集』より) 毎日であったようですが、雪のある景色に心ひかれ、数多くの和歌を残しています。特に朝の雪の美しさは格別だったようです。冬の生活をうたった作品もあり、当時の暮らしぶりを伝えてくれます。

本展では、雪国福井に暮らした曙覧の作品より、晩秋から冬の情景をうたった作品を中心にをご紹介します。あわせて、関連の館蔵資料を展示します。

雪
ふ
る
と
ち
り
酒
の
糟

ち
り
も

展示解説&曙覧さんトーク

12月17日(日)

1月27日(土)

2月18日(日)

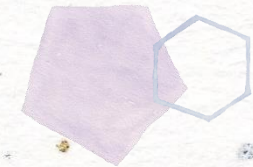
午後2時~(30分程度)

※要観覧券



担当学芸員が展示内容の解説を行います。

曙覧さんに関する疑問や質問にもお答えしますので、お気軽にご参加ください。



【交通のご案内】

〔JR西日本〕福井駅より車(タクシー)で5分

〔コミュニティバスすまいる〕福井駅西口のりば 照手・足羽方面ゆき
「愛宕坂」下車 徒歩1分

〔京福バス〕福井駅西口のりば 運動公園線(道守高校先回り)
または清水グリーンライン「久保町」下車 徒歩2分

〔自動車〕北陸自動車道福井I.C.より 約15分



福井市橘曙覧記念文学館

〒918-8007 福井県福井市足羽1-6-34 TEL:0776-35-1110 FAX:0776-33-3933 <https://www.fukui-rekimachi.jp/tachibana/>